

2017年10月27日

各位

マネックスグループ株式会社  
代表執行役社長 CEO 松本 大  
(コード番号 8698 東証第一部)

## 2018年3月期の剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会にて決議しました、2017年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）について、下記の通りお知らせいたします。なお、中間配当および期末配当の予想開示につきましては当中間配当から取りやめることといたしました。

### 記

#### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2017年3月期中間)
基準日	2017年9月30日	—	2016年9月30日
1株当たり 配当金	3.70円	—	2.60円
配当金の総額	1,026百万円	—	730百万円
効力発生日	2017年12月1日	—	2016年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 配当の状況

	1株当たり配当金（円）		
	中間期末	期末	年間
当期（2018年3月期）実績	3.70	未定	未定
前期（2017年3月期）実績	2.60	2.60	5.20

#### 2. 理由

当社は、成長企業として必要な内部留保を行いつつ、業績連動型の株主還元を実施することを基本方針とし、複数年度にまたがる総還元性向<sup>(注)</sup>の目標を75%としております。

株主還元の方針として、配当については親会社の所有者に帰属する当期利益に対する配当性向50%またはDOE（株主資本配当率）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、中間配当は上期利益に基づき実施し、期末配当は下期利益に基づき実施します。自己株式取得については株価水準と成長に向けた投資計画などを踏まえ、機動的な経営判断により実施します。なお、株主資本は資本金、資本剰余金、自己株式及び利益剰余金の合計額とします。

当期の中間配当金については、当期第1四半期および第2四半期の親会社の所有者に帰属する当期利益の合計額の水準を踏まえ、1株当たり3.70円といたします。

(注) 総還元性向 = (配当金支払総額 + 自己株式取得総額) ÷ 親会社の所有者に帰属する当期利益

以上

(報道関係者様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 広報室 加藤、松崎、小池 電話 03-4323-8698

(株主様・投資家様のお問い合わせ先)

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR担当 出本、仲野 電話 03-4323-8698